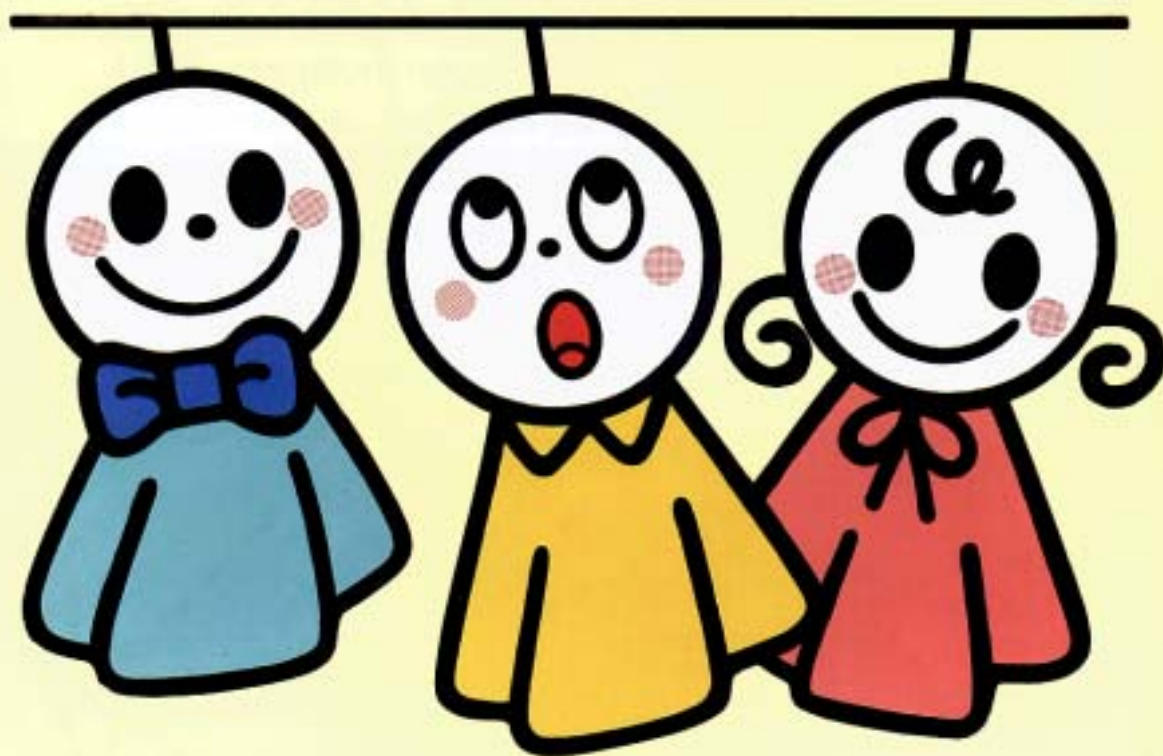


浸水のない街づくり



街を浸水から守る貯留システム

雨水貯留管のはたらき

街に道路ができて、家がたくさん建つようになりました。しかし、街に土のところが少なくなれば降った雨は土の中へ戻りにくくなっています。

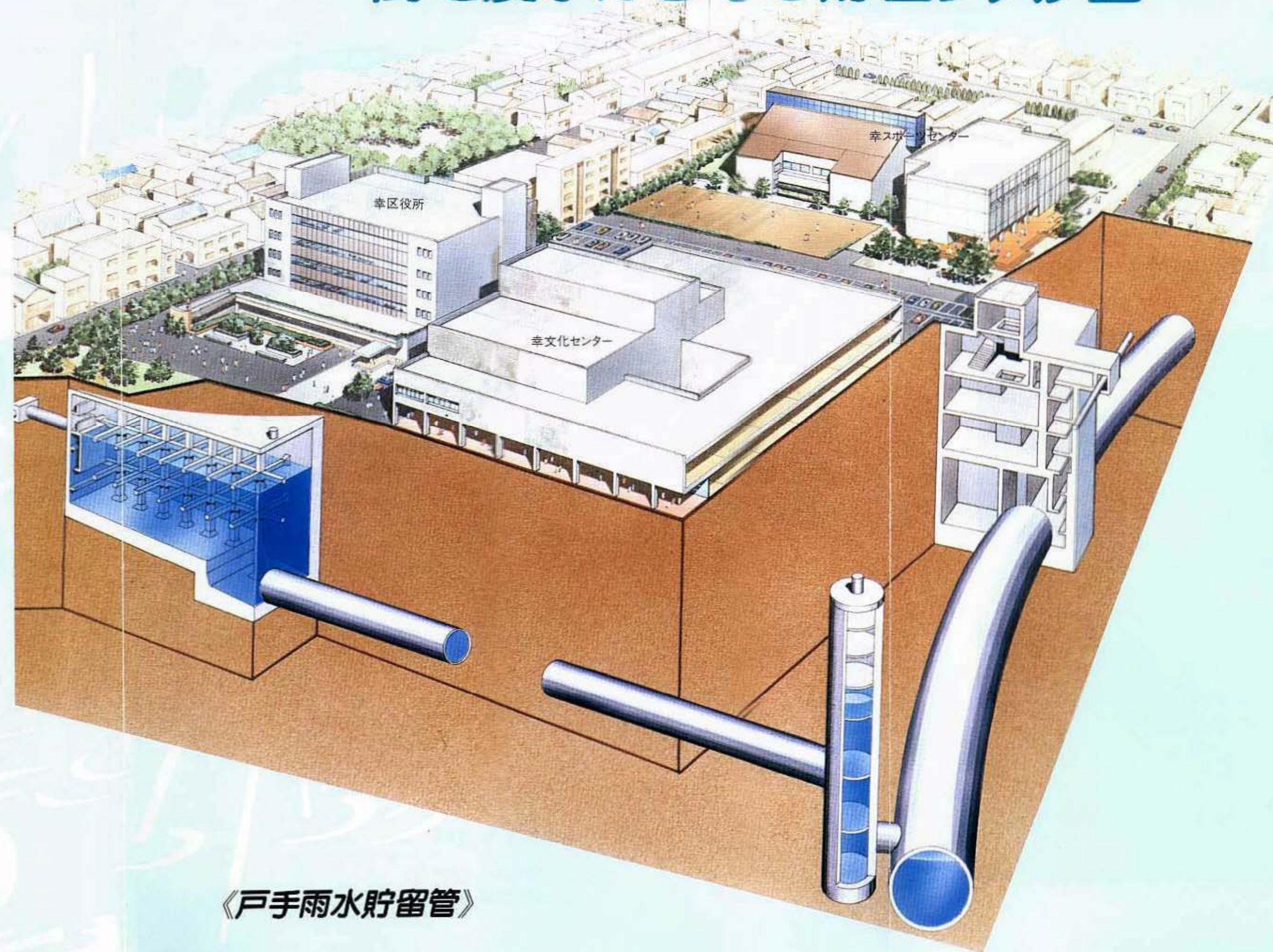
そのために、大雨の降った時など下水管に入りきれなくなり、浸水が起きることに悩んでいます。

降った雨を一時、地下に溜めておくことができれば、大雨の時でも浸水の心配はありません。

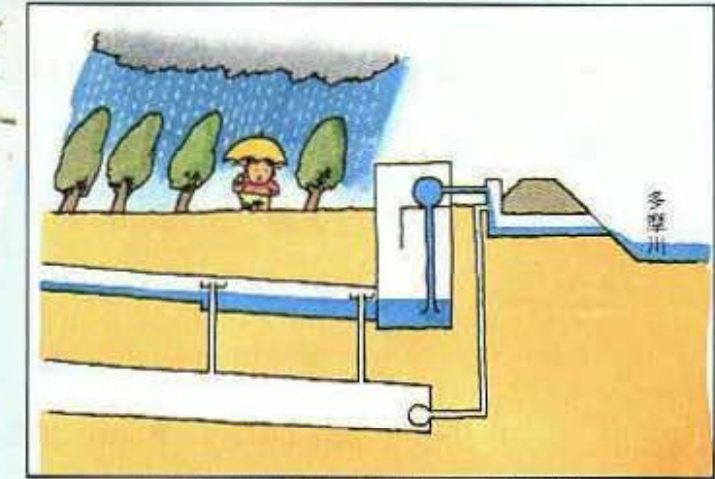
そこで考えられたのが、地下に大きな貯留管を作り、その中に雨水を溜め、雨が止んだら少しずつ川へ流すと言う「貯留管システム」です。

ふだん降った雨は下水管に流れ、大雨の時は貯留管に一時溜めておくことで、街を浸水から防ぐことができます。

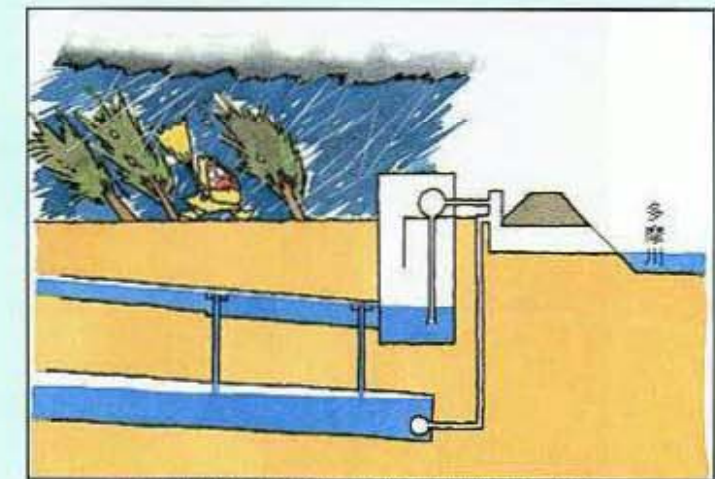
便利になった街は、もっともっと住みやすい街へ変わって行きます。



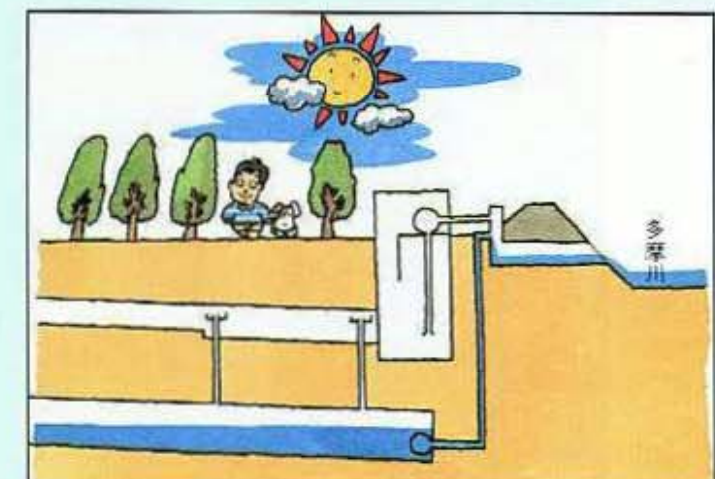
貯留管のしくみ



雨の量が少ないときには、下水管を流れ、ポンプ場より多摩川へ放流します。



雨の量が多くなり下水管に入りきれなくなった時は、地下の貯留管にためておきます。



雨が止んだら、貯留管にためた上のきれいな水は多摩川へ放流し、下のこった水は下水処理場へ送ります。

《戸手雨水貯留管》

事業のあらまし

- 名 称……戸手雨水貯留管建設工事
- 発 注……川崎市下水道局
- 場 所……川崎市幸区・中原区(案内図参照)
- 期 間……平成2年10月～平成11年9月
- 内 容……対象区域 490ha

貯留量 84,800m³

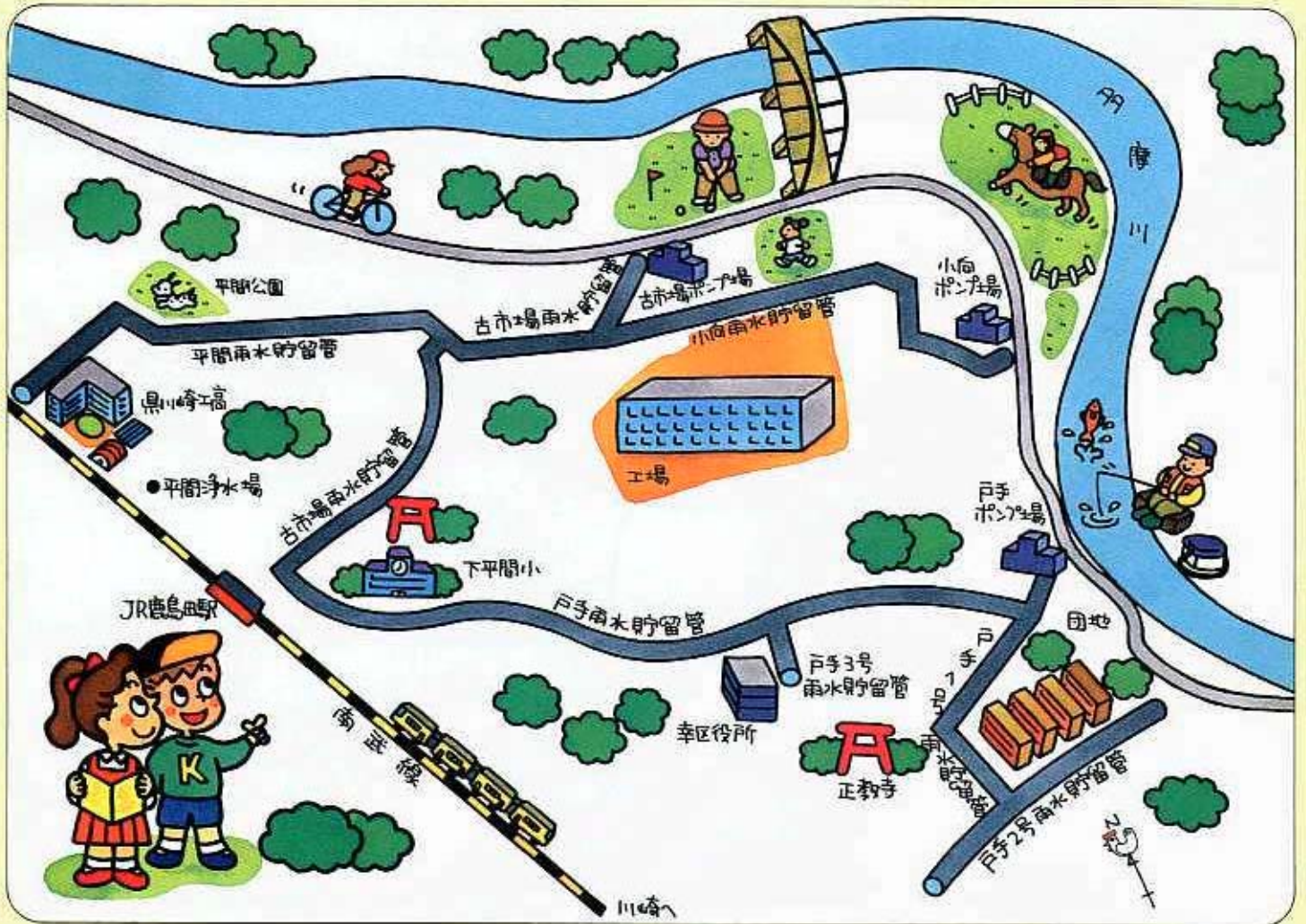
貯留管の内径 2.4m～5.3m

貯留管の長さ 7,500m

地下(深さ) 8.0m～30.0m



案内図



川崎市下水道局

〒210 川崎市川崎区宮本町1

TEL.044-200-2912